

(事業計画書様式1)

1 施設概要

文化・自然体験施設名	茅ヶ崎公園自然生態園
所在地	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南1-4
公園面積、公園種別	94,828 m ² (うち指定管理区域: 約 30,000 m ²)、地区公園
主な施設	里山林、緩衝林、草地、谷戸田、池、谷戸の水場・水路
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む人たちが水と緑の豊かなふるさとの自然景観に親しみ、自然の尊さを学ぶことができる環境である。 ・横浜の内陸部にいて生きものの宝庫といわれる谷戸の源流部の生態系が残されている。
公園開園日	1995年3月24日

2 指定管理者概要

指定管理者名	特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会
代表者名	岸 重行
所在地	〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南1-4
指定管理期間	令和4年4月1日~令和9年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成20年4月1日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制(事業計画書様式2)の報告

 自然の再生

自然生態系を維持し再生していくことを念頭に、調査と保全作業を継続。ゾーンごと植物調査を実施し、把握した様子を元に保全作業を計画した。保護植物には目印等をつけた。

実作業ではボランティアの方々と共に草・低木刈り、竹の間伐等を実施。またスタッフは随時に草刈等を行った。日照改善や生態系更新を図る為、高木伐採を造園業者に依頼した。

 自然環境教育事業

地域の方々に自然や生きものの多様性にふれ学んでいただけるよう、観察会を開催した。自然の魅力を講師が案内し、植物、昆虫、クモ、両生類等、子どももおとなも楽しめる会となることをめざした。また、身近な自然の恵みを体感できる体験型催しを開催した。草、竹、果実、火などをテーマとして、幼児からおとなを対象に様々な内容を企画したが、雨天により余儀なく中止とした催しが4回あった。

 米作り

親子参加者と共に年間16回の作業を行った。参加者アンケート等からは、深い泥田と炎天下の雑草取り等、大変な作業であるにも拘らず、楽しい体験となったことが伺われた。

 適切な施設管理

日常管理として落葉、落枝等の清掃を行った。園路・施設点検を巡回時に行い、危険の見られる劣

化箇所は、技術に長けたスタッフが速やかに修繕を施した。

伐採をスタッフが行う際は、十分に安全に配慮した。産出した材木、竹材等を整理し、ほだぎや土留め、チップかけ等で活用を図った。しかし、利用しきれない材や、運搬できない大径木処理が発生している。大きな課題である。

□身近な自然の普及啓発と地域の里山文化の伝承

自然や生きものの魅力を伝えるため、生物飼育や案内展示、掲示板での写真掲示、園路掲示の自然クイズ、ホームページ、SNS、冊子類頒布等、様々な形で情報を発信した。また、地域の方々の昔を聞き取りまとめた冊子「茅ヶ崎の昔を聞く」を図書館等公共施設に寄贈、来園者に貸出した。

□管理運営体制

事務局に「長」を置かない体制を取る中、管理運営について話し合いを重ね、業務内容の整理と分担、情報共有を心がけた。スタッフ募集を検討し、支援スタッフ2名の参入を得ることができた。

活動全般での安全を最優先とし、緊急時対応、作業事故対応、ヒヤリハット事例について、事務局及び支援スタッフ会議で見直しを図り、研修を4回行った。

実作業においては毎回、安全のための注意喚起や諸注意、鎌・鋸等道具の使用方法を伝えた。救急用品の補充を行った。

2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

1 利用者サービスの向上・利用促進策

□生産物・冊子等：タケノコ、サンショウ苗、シイタケ等を提供し、冊子類を頒布した。特にタケノコは「新鮮、柔らかい」と人気があり、春は求めて訪れる人が多い。

□生きものの展示・掲示：当施設の魅力の一つ。飼育中の大きなカメ4匹は外来種であるが、のんびりした姿が来園者の目を引いている。ほか、ザリガニやおたまじゃくし、ヘビなどその時々には捕獲した生物展示、飼育を行った。また、近年増加し、在来種生息を脅すカワリヌマエビの存在を知っていただけるよう、エビ類の展示とポップ看板を新設した。園路沿いに掲示する「クイズ」は評判よく、随時更新している。また、開花植物の写真掲示、植物名札設置を引き続き行った。来園者に生物等について問われた時は、出来るだけ丁寧に、現地案内も心がけた。

2 広報・プロモーションの取組

□ホームページ：催しの情報や申込み、団体紹介などを掲載した。ブログでは催し終了後、その様子をできるだけ早く発信した。また、新たにInstagramを立ち上げ、生物や風景をアップした。催し参加者が終了後に見られるウェブアルバム（催しの様子写真）も継続しており、好評である。

□地域・会員：「せいたいえんだより」配布（小学校ほか）。「ニューズレター」を隔月で発送した（会員、協力者）。

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

□保全再生事業：ボランティア参加者が楽しく、主体的に関われるように、スタッフは作業内容や目的の説明、植物案内等を努めて行った。

□地域団体との協力：平日、近隣小学校の観察や活動の際には子どもたちの疑問に答えたり、自然

体験活動の手伝いを行った。保育園にはお散歩で来園していただき、七夕ササを保育園や高齢者施設に提供した。

大学生の卒論研究活動支援を行った(「アメリカザリガニ駆除」、「リタートラップ」)。

4 災害時の緊急対応

内規の「安全対策マニュアル」を確認し、次年度に見直し、校正に取り組む予定である。

5 安全対策・防犯対策

巡回時、目視によるベンチ等施設の点検、枯木、梢の枯枝、ハチ巣の有無等を確認した。畦の橋板や園路の沈下(湧水上)、池デッキ柵等については、急ぎ修繕を施した。

伐採やチップ等機械作業は、装備を着用、所定基準を守り、安全を最優先した。横浜市から届く事故情報はその都度、スタッフ全員で共有し、体制を振り返った。

個人情報保護、金品、道具類の保管、施設施設錠について計画どおり行った。防犯カメラ使用を検討し、詰所入口に設置した。

6 苦情・要望への対応・不法行為対策について

例年同様に、出入口と開園日を増やしてほしい旨の要望が寄せられた。また、数年前受けた「トイレ利用者の車両への苦情対応」では看板とカラーコーンを設置したが、改善された旨、当事者からお知らせいただいた。一方、コーンの周りに落葉や泥が溜まると苦情があり、以後は注意して清掃に努めた。

7 横浜市の重要施策を踏まえた取組・個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

□個人情報保護:スタッフ研修を行い、内規及び横浜市指導内容を遵守した。

□人権尊重:その一環で、パワハラ・セクハラ防止の内規を発行する予定であったが、次年度に持ち越した。

□環境配慮:植物調査、昆虫観察、水生生物調査(委託事業)等を踏まえて保全作業を計画、実施した。米作りの田起こし等作業においても、谷戸の生物多様性を大切にザリガニ駆除、アリアケスミレ等希少植物やニホンアカガエルの保護を行った。

修繕の際には、できるだけ木材の再利用、園内伐採竹木の使用を心がけた。水辺ではマイクロプラスチック汚染抑止のため、PP製土嚢袋を使わず泥あげを行った。

□市内中小企業優先発注施策:トイレ清掃、事業ゴミ回収、高木伐採を該当企業に発注した。

□新型コロナウイルス感染等の拡大防止:スタッフはマスク着用、検温を行ったほか、室内換気を心がけ、来園者・催し参加者に対しては防止対策への協力をお願いした。感染状況の変化に鑑み、2月には4年ぶりとなる焼き芋体験(たき火を楽しもう)を開催した。

□熱中症対策:6月以降、夏季の催しや作業では、WBGT計を参考に、開始時刻を早める、参加者へこまめな声かけ、休憩を増やす、日陰を選ぶ等で対処し、事故なく夏を越えることができた。

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

1 維持管理

来園者が気持ちよく自然を感じ、安心して利用できる施設をめざし、設備・自然の維持管理を行った。

2 施設（建物等）・設備の維持管理

□日常点検: 詰所・正門、トイレに異状がないか点検し、毎日清掃を行った。

□定期点検: 施設の破損劣化状況及び、自然の枯木枯枝有無等の状況点検を年2回実施した。

□施設特有の不具合: 毎巡回時に枯木枯枝含め、園路地面等注意して目視確認を行い、必要に応じて落枝除去、園路に張り出す枝類除去、毛虫駆除、園路整備等を行った。

3 樹木・植栽等の管理

計画に沿って主に草・ササ刈りを行い、低木伐採、竹伐採、希少植物保護を行った。また高木の観察点検を行い、危険回避及び植生環境改善のため、伐採樹木を選択し横浜市及び業者に依頼し実施した。

(事業報告書様式3)

令和4年度文化・自然体験施設利用状況（園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入）

月別	文化・自然体験 施設の利用人数	備考
4月	732	
5月	1,142	
6月	961	
7月	1,098	
8月	207	
9月	893	
10月	1,067	
11月	756	
12月	230	
1月	487	
2月	657	
3月	355	
年間合計	8,585	入園者概数、活動者数、催し参加者数、近隣2小学校利用数を合計

(事業報告書様式4)

令和4年度修繕実績 (※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月日	修繕箇所	金額 (単位:円)	委託業者名、直営か
4月20,22日	展示水槽排水口:調整・改修	1,324	直営(スタッフ)
4月8,14,16日	ほだぎ置場:土留め、階段補修	0	〃
6月17日	詰所サッシ網戸:網張替等	2,738	〃
6月1,3日	田んぼ排水口:水漏れ改修	20,252	〃
7月13日	詰所棚扉蝶番:補修	764	
7月29日	詰所シャッター:はめ直し	0	〃
7月20,21	ほだぎ置場:土留め、階段補修	0	〃
7月27日	田んぼ木道:修理・板交換	0	〃
7月6,9日	田んぼ排水口:水漏れ改修	0	〃
7月27日,8月24日,9月9日	広場上斜面階段:整備	0	〃
8月10日	入口付近看板:補修	0	〃
9月16日	展示台:撤去・腐食部補強	0	〃
10月15日	散水栓排水管:泥除去		
10月19日	田んぼ排水口:水漏れ改修	0	〃
11月13日	トイレ鏡面:補修	110	
11月24日	トイレ扉シリンダー:交換	27,060	
12月16日	木製ベンチ背板:補修	0	〃
12月16日	ぬかるみに敷石:敷設	9,810	
12月21日	中央詰所扉鍵シリンダー:交換	30,800	
1月13日	園路の橋:陥没部:橋渡し	35,970	〃
1月13日	丸太ベンチ:塗装	0	
3月10日	チッパー他機械:オイル交換等	3,448	〃
3月24日	外周柵:ネジ等補修	21,414	〃
隔月1回程度	カマ:研ぎ・調整	0	
合計		153,690	

(事業報告書様式5)

令和4年度増減備品一覧 (※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄	増減理由
			数量	日付		
パソコン	ノート型	170,810	1	4年12月28日		使用 PC 不具合のため新規購入

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	2021年苦情→ 2022年6月	トイレ利用者の駐車車両が迷惑。	駐車禁止看板とコーン設置結果、効果あったとのこと。
2	2022年7月	階段がきつい。歩道整備をしてほしい。	時間はかかるが整備を進める旨回答し掲示した。
3	2023年3月	植物プレートをふやしてほしい	旬の花や樹木につけていく旨回答し掲示。

事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	2022年11月20日	ササ刈中にスタッフがクロスズメバチに刺された。	退園後、病院にて受診、炎症等症状は軽く済んだ。

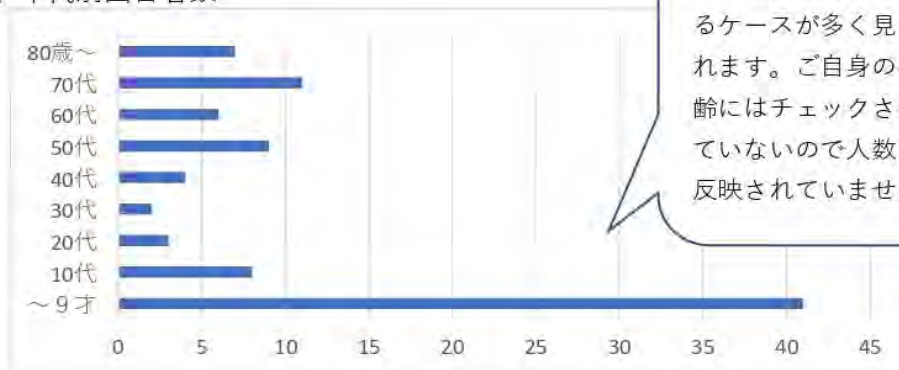
(事業報告書様式7)

利用者アンケート結果

実施期間 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日

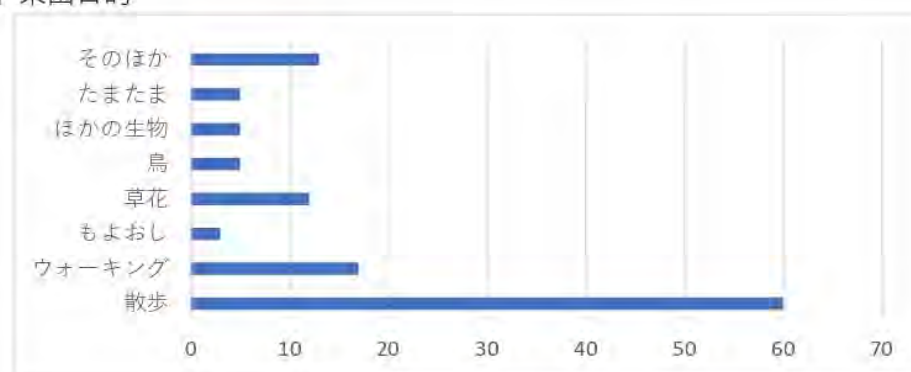
回答者 : 91人

【1】年代別回答者数



保護者が記入しているケースが多く見られます。ご自身の年齢にはチェックされていないので人数に反映されていません。

【2】来園目的



【3】感想、意見・対応等

- ・階段がきつい、歩道を整備して欲しい（様式6に記載）
- ・池の透明度の改善、池をきれいにして生き物が見られるようにして欲しい
→ 混濁は泥や藻類が原因であり、水質は良好である旨を掲示回答
- ・池でお兄さんたちが何をしているのか知りたい
→ 掲示クイズにQAでアピール
- ・ナラ枯れがどこもひどくて心配
→ 枯木伐採、観察等の現状を掲示回答
- ・植物プレートを増やして欲しい（様式6に記載）
- ・いやされる、二次林が適度に管理されている
- ・都市の中に残されている、素晴らしい自然だと思います
- ・自然がたくさんある
- ・生き物がたくさんいる
- ・近くにいいところがあってよかった

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	9月3,4日	チェーンソーによる伐木等特別教育(外部団体主催)	3人参加。伐採作業の安全と技術を履修(1人は再受講)。安全意識を高め、作業に活かした。
2	12月14日	個人情報保護	内規と横浜市規定を元に実務上の課題を確認。内規を修正発行した。事故なく業務を遂行できた。
3	1月12日	保全作業の安全	作業中のヒヤリハット事例を振り返り、体制等の改善を検討。大きな事故なく作業を実施できた。
4	2月8日	緊急時の安全対策	マニュアル(内規)確認と課題を検討。安全意識を高めることができた。
5	3月	人権研修	横浜市提供のオンライン講座を職員各々で視聴。個々の人権意識を振り返ることができた。

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧(自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
定例保全作業	草・ササ刈り、低木刈り、竹きり、ほだぎ作り、ほだぎ置場整備、階段整備を実施。サポーター、一般ボランティア(小学生~おとな)と共に楽しく安全に実施。新しい方々の参加定着を得られた。	187	4/16,24,5/29,6/18,26,7/24,9/17,25,10/15,23,11/29,27,12/17,25,1/21,29,2/18,26
草刈り	保護植物の知識を共有し、丁寧な草・ササ刈りを実施した。新しい方の参加定着を得られた。	23	4/7,7/7,9/8,11/10,1/5,2/2,3/2
植物調査	植物の生育状況を調査、2013年に調査をまとめた後の再調査として8月と冬季を除き実施した。西山と湿地帯について実施、次年度に継続の予定。	32	4/21,28,5/12,6/9,23,7/14,28,9/22,10/27,11/10,24
ネイチャークラフト	「森の風」(市民団体)による木の実等を使って行う自由工作。	40	4/16,6/23,8/20,10/15,11/19,12/17,1/21,2/18
教育機関学習活動への協力	近隣小学校2校の観察授業。クラブ活動(観察、ザリガニ駆除、竹伐り、焚火体験) 2大学の学生の研究活動(リタートラップ調査及びザリガニ駆除の效果研究)	約4300	5/7,6/1,7/24,27,29,8/5,12,19,24,27,9/9,16,21,23,10/15,21,28,11/19,27,12/2,9,16,23 他通年

有料事業実施報告一覧（自主事業含む） ☆決算額を入れてください

事業名	事業内容・実施結果	参加数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費（円）	自主事業収入(円)
「昔ながらの米作り」	苗床作りから堆肥入れまで計16回実施。お米105kgを収穫した。田んぼが2面となり、また6月に晴れの日が多かった為に稲の分結が進み、収量が多かった。一方で新型コロナウイルス対策で参加人数を減らしている為、田起こし、田植え、稲刈り、脱穀の作業日が通常1回のところを2回ずつ実施する必要があった。参加者はたくさんの作業に取り組むことができ、満足されていた。	275	4/23,5/7,5/ 22.5/28,6/3 6/4,6/5,7/2, 3,9/10,10/8 10/15,11/5, 11/6,3/4	144,502	50,858
「野の花ウォッチング」	散策しながら、植物について構造や生態を丁寧に解説。常連さん含め毎回7～10人程で実施した。	50	4/2,5/7,6/4, 7/2,9/25, 10/22,11/2, 7,3/19	18,600	37,703
クモの観察	ハエトリグモ、クサグモ等々、様々なクモを探して観察。個々の生態を楽しく学べた。	14	4/29	4,003	4,851
両生は虫類の観察	講師持参の生物も含めて観察。実際に手で触れ、感触を感じながら観察をした。貴重な機会となった。	26	5/3	7,208	13,835
「めざせ！ザリガニマスター」	園外で捕獲したザリガニ計6,323匹を引取り、参加者にカードを進呈。田の施肥、動物園提供に活用した。	500	5/1～10/16 の開園日	4,000	664
昆虫探偵団	「バナナトラップ」は事前の数回トラップに甲虫が全く集まってこなかったため、中止とした。「セミの抜け殻調査隊」「秋の虫観察会」ともに身近な昆虫、抜け殻を実際に探し出し、講師とともにじっくりと観察した。	19	7/70：中止 8/27,10/29	5,900	16,443
草木染め	コブナグサとクズを使い、草木染めを行った。自然に親しむネイチャーゲームも楽しみ。童心に帰って自然	5	10/20	5,000	5,065

	と親しむ時間となった。				
クリスマス飾り作り	雨天中止	0		0	3,023
竹工作	雨天中止	0		0	0
森となかよしキッズ in 生態園	「たき火をたのしもう」では、子どもたちがたくさん発見をしながら山を探検し、拾い集めた小枝をたき火にくべて焼き芋を焼いた。たき火をする機会が少ないなか、小さな子どもたちにとって貴重な機会となった。	9	11/23,1/14, 2/3, 3/2 : 中止	8,050	6,574
「ようこそ生態園へ」(植物冊子全4冊)	サポーターグループが作成。園内植物約 300 種を分かりやすく解説した冊子。開園日に展示、頒布した。	25	通年	21,100	1,530
ザリガニパンフレット	アメリカザリガニ啓発パンフレット。「めざせ！ザリガニマスター」新規参加者に配布した。	35	5～10 月第 1,3 日曜日	0	0
合計		958		219,863	142,035

(事業報告書様式 10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数	実施月
トイレ清掃	日常清掃	横浜市南区 (株)斎藤商会	141,900	260	年間 (月火水木土 曜日)
トイレ開錠・施錠	トイレ施設の開閉 朝 9 時及び 17 時	個人	71,100	237	年間(月火ほか)

茅ヶ崎公園自然体験施設 令和4年度 事業報告書

(事業報告書様式 11)
収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	10,325,675		10,325,675	10,325,675	0	
利用料金収入						
自主事業収入	254,490		254,490	316,689	-62,199	会費：78,000円，寄付金：218,931円，催し参加協力金：19,758円
雑入	110,200		110,200	177,805	-67,605	催し参加協力金
その他雑入				63	-63	利息
収入合計 (a)	10,690,365		10,690,365	10,820,232	-129,867	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	7,755,317		7,755,317	6,456,509	1,298,808	
給与・賃金	6,753,637		6,753,637	6,167,524	586,113	
社会保険料	595,000		530,000	24,255	505,745	労働保険
通勤手当	286,680		286,680	191,750	94,930	
福利厚生費			65,000	72,980	-7,980	労災あんしん保険，香典等
勤労者福祉共済掛金	60,000		60,000		60,000	
退職給付引当金繰入額	60,000		60,000		60,000	
事務費	964,200		964,200	966,356	-2,156	
旅費	43,500		43,500	19,796	23,704	市内交通費，駐車場代
消耗品費	80,000		80,000	102,323	-22,323	
会議賄い費	20,000		20,000	2,982	17,018	お茶類
印刷製本費	112,000		112,000	119,311	-7,311	紙，インク，版下，印刷代等（広報誌）
通信運搬費	153,900		153,900	107,544	46,356	電話・ネット使用料，切手，運送料
使用料及び賃借料	87,300		87,300	124,116	-36,816	
(横浜市への支払い分)	2,860		2,860	7,200	-4,340	公園使用料
(その他)	84,440		84,440	116,916	-32,476	給与ソフト使用料，HP：Wi x使用料
備品購入費	90,000		90,000	242,877	-152,877	
保険料	61,594		61,594	58,594	3,000	賠償保険，レクレーション保険
振込手数料	22,220		22,220	17,075	5,145	給与振込手数料，振込手数料
リース料	78,000		78,000	79,068	-1,068	AEDリース料
手数料						
その他事務費	215,686		215,686	92,670	123,016	
自主事業費	251,630		251,630	265,272	-13,642	
管理費	780,520		780,520	2,477,626	-1,697,106	
光熱水費合計	※横浜市負担					
光熱水費（電気）	※横浜市負担					
光熱水費（ガス）	※横浜市負担					
光熱水費（水道）	※横浜市負担					
光熱水費（下水道）	※横浜市負担					
清掃費	524,420		524,420	298,770	225,650	内委託分＝

茅ヶ崎公園自然体験施設 令和4年度 事業報告書

						トイレ諸費 (清掃&鍵開閉) 213,000
修繕費	16,000		16,000	153,690	-137,690	
機械警備費						
公園及び公園施設設備保全費	240,100		240,100	2,025,166	-1,785,066	
施設(建物)・設備保守						
園地管理費	28,000		28,000	1,037,774	-1,009,774	(内 939,400 園路側樹木伐採)
その他保全費	212,100		212,100	987,392	-775,292	(内 856,900 園路側樹木伐採)
公租公課	938,698		938,698	469,274	469,424	
公租公課(事業所税)						
公租公課(消費税)	938,698		938,698	469,274	469,424	
その他公租公課						
事務経費(本部分)						
雑費						
支出合計(b)	10,690,365		10,690,365	10,635,037	55,328	
差引(a-b)	0		0	185,195	-185,195	

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計(c)	51,000		51,000	54,236	-3,236	
設置管理許可支出合計(d)	50,860		50,860	7,200	43,660	
差引(c-d)	140		140	47,036	-46,896	

今年度の収支報告

- * 自主事業内訳；収入 494,557 円＝仕様書記載有料事業 177,805 円、ほか 316,752 (会費・寄付金円箱・協力寄付金・利子) …内 19,758 は有料事業分／支出 仕様書記載有料事業 114,184 円、ほか 272,472 (内 180,905 は有料事業分、7,200 円は公園使用料)
- * スタッフの退職・新規雇用の多い年となり、人件費の当初予算よりズレが生じた。
- * 施設管理において、予想外の修繕箇所が出たが、外部業者ではなく知識や技術をもったスタッフや協力者のおかげで、修繕費をおさえることができた。

(事業報告書様式12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価	改善点等今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2：達成目標、運営業務の実施方針、個別課題)	<ul style="list-style-type: none"> 植物調査 16回 保全作業 32回 施設の全体総点検 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 植物調査 11回 保全作業 26回 (調査中止5回、作業中止6回はいずれも雨天のため) 施設の全体総点検2回 	◎	調査と保全は重要な活動。大事に取り組んでいく。
業務運営2 (事業計画書様式2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> チェンソー講習(夏季開催予定)参加 	<ul style="list-style-type: none"> チェンソー講習参加 3名 人権講習聴講 5名 個人情報保護研修参加7名 保全作業安全研修参加5名 	◎	定期的に研修を実施し、安全、情報保護、人権について職員は常に意識していく。
業務運営3 (事業計画書様式3：利用者サービスの向上・利用促進策)	<ul style="list-style-type: none"> 前年度利用者アンケート集計と要望抽出。総会報告と対応の検討。 意見回答をアンケート台に設置し、掲示。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施した。アンケート回答をまとめたほか、園路自然クイズにも、来園者の疑問を取り込む工夫をした。 	○	回答数の増えるような広報を工夫していきたい。
業務運営4 (事業計画書様式3：広報・プロモーションの取組)	<ul style="list-style-type: none"> イベントを毎回ブログに更新。 HP使用写真は年に4回程度更新。 「せいたいえんだより」年2回近隣施設配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ブログを催し毎に更新。 インスタグラムを立ち上げ、フォロワー数更新中。 HP写真を季節ごとに更新。 計画どおり「せいたいえんだより」2回発行、「ニュースレター隔月発行 	◎	更新と発行を継続していく。
業務運営5 (事業計画書様式3：市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> 保全作業にボランティア8人以上/回参加をめざす。また子どもの2人程参加をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 保全作業は平均10人以上参加あり、うち子ども2人以上の参加あり。 ・ 	◎	参加者の定着と、より深い関わり方のための人材育成に努めていく。

<p>業務運営6 (事業計画書 様式3:市の 施策への協 力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業への優先発注100%をめざす。 ・個人情報保護研修を実施。 ・泥浚渫はプラスチック汚染抑制のため、麻製土嚢袋利用、竹等による枠組みへ投入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注2件のうち、1件は区内造園業者、1件は神奈川県内の鍵修理業者であった。 ・泥浚渫作業では、土嚢袋を使用せず、竹枠組みの中へ泥を投入した。 	<p>◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業への発注を心がけ、かつ誠実優良な業者を探していく。 ・プラスチック製品を過消費せず、大事に使用する。
<p>業務運営7 (事業計画書 様式4:文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性、自然再生のため、保全作業21回/年 ・草刈ボランティア11回/年 ・スタッフによる日常管理作業を実施。 ・里山景観を大事に、自然への働きかけが見える施設づくりを行う。取組みを広報掲示し、保全作業への参加増をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全作業 18回 ・草刈りボランティア8回(計6回中止は雨天のため) ・スタッフ草刈り作業:随時 ・生物多様性を踏まえた作業を実施。アンケートには維持作業を感謝する声が寄せられた。 ・参加者増に努め、社会福祉協議会の協力をいただき、参加者増の成果があった。 	<p>◎</p>	<p>施設の魅力維持のため、保全作業への参加募集の工夫を継続していく。</p>
<p>業務運営8 (事業計画書 様式4:施設(建物等)、設備の維持管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常巡視点検で、ベンチ等設備の目視と接触で破損劣化を確認。 ・年2回、建造物基礎部分等の劣化・腐食等確認・点検を実施。 ・工作物には防腐処理をしない木材を使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常巡視点検:週3回実施 ・劣化箇所確認の都度、計画に沿った修繕を実施。 ・定期点検:年2回実施。 ・防腐処理のない木材を使用した。 	<p>◎</p>	<p>継続していく</p>
<p>業務運営9 (事業計画書 様式4:樹木、植栽等の管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保全作業前準備として、下見、保護植物囲い、優先伐採木選定等を行う。 ・大径木や高木の伐採・枯枝処理は秋冬、市の委託業者に依頼。随時、危険な折れ枝等は市に報告し対応を依頼。 ・管理作業は生息生物への負担軽減に配慮。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全作業前準備:毎回実施 ・市による伐採・枯枝処理:14カ所実施 ・造園業者による伐採:12本実施 ・植物や昆虫等生物生息への負担軽減に十分配慮した。 	<p>◎</p>	<p>調査を元にした準備作業、伐採木選定を継続し、伐採木の処理について横浜市と相談しながら園内林床環境の整備を図っていく。</p>

<p>業務運営 10 (事業計画書 様式 4 : 巡 視・清掃)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ・周辺を毎朝清掃する。 ・谷戸周辺園路は開園日および随時、他園路は週 2 回程度、巡視、落枝・ゴミ除去を実施。橋やデッキ等、落葉を適宜清掃。 ・詰所周辺は開園日及び適宜清掃。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り、トイレ周辺、谷戸周辺、デッキ等、詰所周辺の清掃を実施した。 	<p>○</p>	<p>落葉、落枝等、一年通して清掃を怠らないように努める。</p>
<p>収支 (事業計画書 様式 7 : 収入 確保、経費節 減策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとに執行状況を見直す。 ・半期経過後に後半見込みをたて、状況にあった会計を行う。 ・会計に関する内部規範を適宜見直す。 ・伐採木、タケノコ・シイタケ等を希望者に提供、寄付金をいただく。 ・「ようこそ生態園へ」(植物ガイドブック)や「いきものたち」等の冊子を頒布。 	<p>計画通りに実施した。</p>	<p>◎</p>	<p>引き続き適正な予算執行を行う。</p>